

原ゆうじ 市政報告 VOL.63

TEL&FAX047(367)6754 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログ(原ゆうじの日記)も好評配信中！ 公式 HP:hara88.mobi



(原ゆうじのプロフィール)
1965年松戸生まれ 上本郷小、六中、
立教高校、立教大学理学部化学科卒。
長瀬産業(商社)勤務を経て現在、
ベーカリー店経営
H22年市議初当選、現在2期目
妻、4子(3男1女)の6人家族

松戸市議会議員原ゆうじ市政レポート 31年春号松戸の未来へ全力投球！

過去最大 1561.8 億円！31年度予算可決！ 市役所移転、千駄堀新駅はどうか？ 増える借金！大型事業の行方は？

大型6事業に優先順位！千駄堀新駅、矢切道の駅構想等が後回しに！

波乱？の3月議会最終日、過去最大となる1561.8億円(一般会計)の31年度予算が可決となりました。

注目の6大事業の各予算はどうなった？ **混乱となった31年度予算審議！** 詳しく報告します。

(表1:6大事業詳細) 赤字:優先される事業

(事業、構想名)	推定事業費
①新拠点ゾーン開発構想	458 億円
②新焼却炉&リサイクルプラザ建設	234 億円
③新松戸駅東口区画整理事業	181 億円
④千駄堀新市街地開発&新駅構想	240 億円超
⑤矢切道の駅構想	72 億円
⑥北小金駅南口再開発事業	未定

6大事業とは？現在、まるでバブル？と思わせるような大型まちづくり事業が検討され、莫大な事業が見込まれています。今回もそれぞれの事業の調査予算が計上されましたが、

本当に大型事業すべてが出来るのか？ 借金はどうか？財政は持つのか？

議会からは上記疑問に加え、事業内容や事業費、市負担金の詳細を一向に示さない市に対し不満が爆発！「事業費の詳細、優先順位を示さなければ予算審議には応じない」と予算審査前に市へ異例の申し入れを行いました。

市借金限界は1436億円！あと225億円！大型事業の優先順位が示される！

こうした議会からの疑問や訴えは昨年からあり、そのうち市は借金はどのくらいできるのか？という借金の限界値については借金の限界値の目安は1436億円(一般会計)と示されていました。今年度末の借金残高見込みは1211億円ですので、差し引きすれば、松戸市が借金できるのはあとわずか225億円！ということになります。これでは①~⑥すべての大型事業をすぐにできるわけありません！こうした議会からの訴え(事業に優先順位をつけるべき!)にこたえ市長から「任期中に手を付けるのは①新拠点ゾーンのうち、市役所の移転建て替え、上記②③事業」との話が予算審議冒頭にありました。初めて事業に実施時期の優先度がつけられたこととなります。

市長発言から、④千駄堀新駅構想、⑤矢切道の駅構想、⑥北小金南口再開発は少なくともあと3年は手を付けないということが事実上判明したことになりました。

修正案否決！まずやるべき事業は市役所建て替えと新焼却炉建設では！

しかし、あと225億円の借金のみで①~③できるのでしょうか？総事業費の合計は800億円を超えることとなります。国等からの補助金がいくらかはあるにせよ難しいのではと思われます。また①~③の事業費はかなり見込みが甘いように見え、必要費用からの試算というよりは、まるであと225億円に合わせたかのような事業費の試算！に感じました。今、本当に必要な事業は何か？

それは耐震性のない市役所建て替えと市民生活に必要な新焼却炉建設だと思います。まずはこの二つを優先的に精査しそのうえで他の事業も考えるべき！そこで③新松戸区画整理と後回しとなる千駄堀、矢切、北小金地区の事業関連予算の削除を求めた修正案を予算委員会に提出しました。しかし、残念ながら修正案は反対多数で否決となってしまいました。

後回しとなる事業関連予算がなぜ今必要なのか？釈然としません！

今の松戸市にはそんなお金の余裕はない！と思っています。

(原所属会派修正案主内容)

新松戸東口区画整理関連
建物調査等業務:1億5500万円
千駄堀新駅構想関連
新市街地開発調査等業務:4500万円
矢切道の駅構想関連
水陸両用バス実証実験予算:662万円

新拠点ゾーン開発(市役所移転候補先) 事業費見込み、約457億円!

巨額事業費が判明! このままで大丈夫か? 市役所移転先、他の候補地との比較は?

耐震性に課題のある市役所ですが、現在、市ではその移転先として松戸駅東口、イトーヨーカ堂裏、中央公園付近: 右図参照を挙げています。しかし、これまで事業内容(市役所以外どんな施設を建てるのか)、事業費の見込みは示されていませんでした。原を含め議会から「なぜ、隠すのか? 早く示すべきだ」との昨年からの要請に応え、ようやく今回、その詳細が示されました。



事業内容と事業費: 合計457億円(見込み)

基盤整備費 6ヘクタール(公園、道路など)	約53億円
土地取得(市役所、文化施設用地)	約64億円
建設費(市役所本庁舎)	約180億円
建設費(図書館、市民会館、美術館ギャラリー)	約77億円
駐車場建設(約450台)	約72億円
施設撤去費(市役所、図書館、市民会館)	約11億円

財源の内訳は 土地売却益105億円 国補助金69億円 其余84億円 残りは起債(借入)200億円以上?

原ゆうじの考え: なぜこの場所なのか? 千駄堀新駅候補地周辺、上本郷病院跡地などではだめか? 松戸市はこれまでの検討した経緯を示すべきだ!

今回、なぜこの場所に候補地先が絞られたのか? 正直、わかりません! この場所は多額の土地取得費がかかります。他の場所にしてコストダウンは図れないのでしょうか? 個人的には千駄堀新駅候補地周辺なら JR に対するおおきなアピールになると思いますし、上本郷市立病院跡地であれば、土地を買う必要はありません。

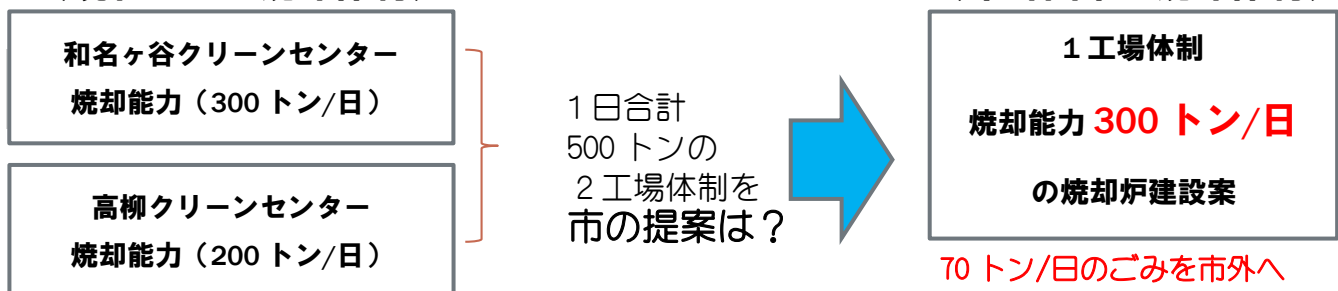
これだけの事業費を使うのであれば、まず市はこの場所を候補地とした経緯や理由を示すべきと考えます。また、**ベストの選択をするためにも他の候補地との比較を正々堂々行うべきと考えます。今後も市に訴えてまいります!**

こみが燃やせない? 変な新こみ焼却炉建設計画!

今回、優先順位が高いとされた新こみ焼却炉建設計画(見込み建設費180億円)ですが聞いてビックリ! でした。現在松戸市では高柳のクリーンセンター(200トン/日)と和名ヶ谷クリーンセンター(300トン/日)の2工場、計1日当たり500トンの処理能力でこみを焼却処理しています。この2工場体制を1つに集約し建て替えると聞いていましたが、今回示された計画案では、**わずか1日当たり300トンの処理能力しかない**建設計画となっていました。これでこみを燃やしかれるのか? 市は**燃やしかれないごみ**1日70トンを他市で燃やしてもらい、あとはごみの減量に期待するというものです。本当にこの計画で大丈夫なのか? 基本的にごみは自治体で自己処理が基本です。なぜ、最初から燃やしかれない計画にするのか? そこには市のある事情が、、見え隠れ

(現在のごみ焼却体制)

(市計画中の焼却体制)



原ゆうじ考え: 市自ら出した借金のリミットへのつじつま合わせをするな!

市が設定した225億円という借金のリミット。この枠で、新松戸開発、新拠点ゾーン開発、焼却炉建設すべてを行うのは無理です。**焼却炉を縮小するのはまさに借金枠への辻合わせ!** 即刻! 市は見直しをすべきです!
借金のリミットは市が自ら設定したものです。であるなら、この枠内でしっかりと大型事業が出来る道筋を市はまず示すべし! つじつま合わせのために市民生活に必要な不可欠なごみ焼却炉を必要以上に縮小するとすれば、それはまさに**言語道断!** 今後、本当にこの計画で大丈夫なのか? 検証をしっかりと行ってまいります!!